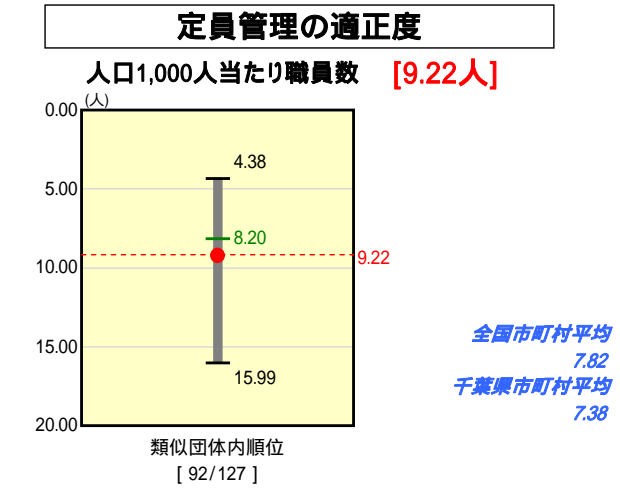
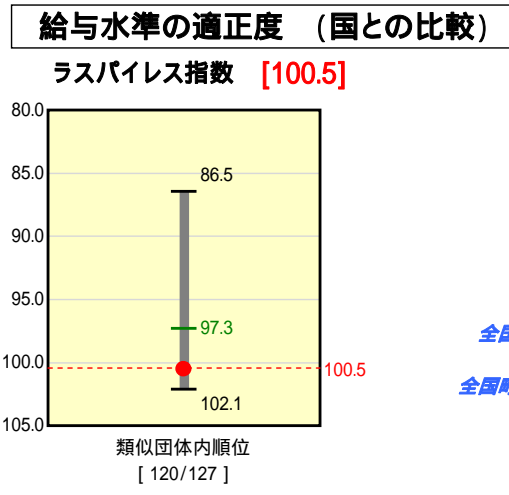
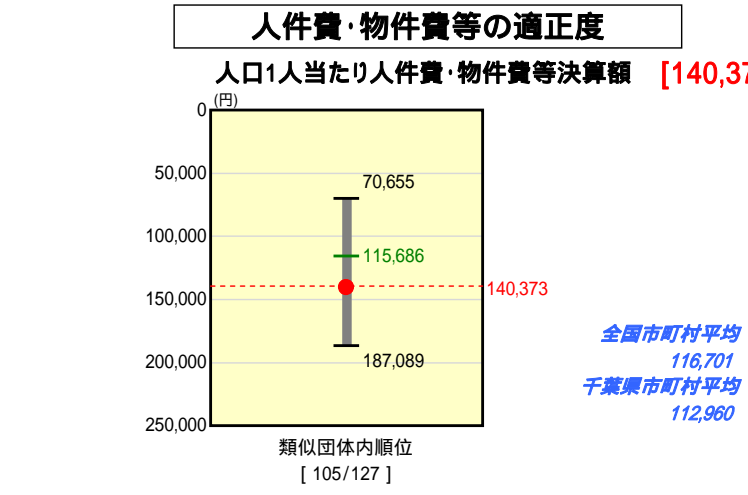
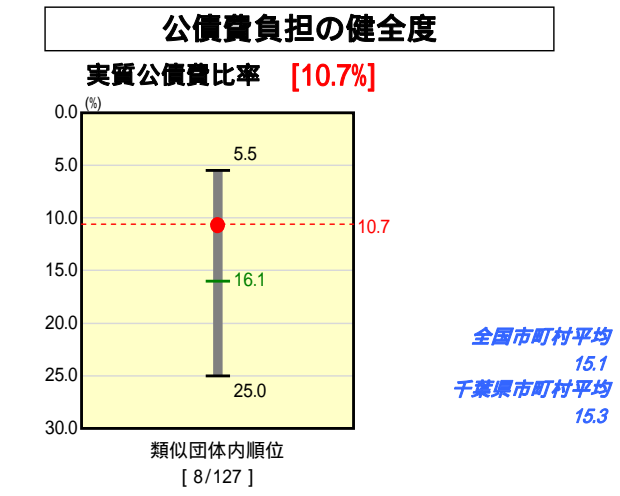
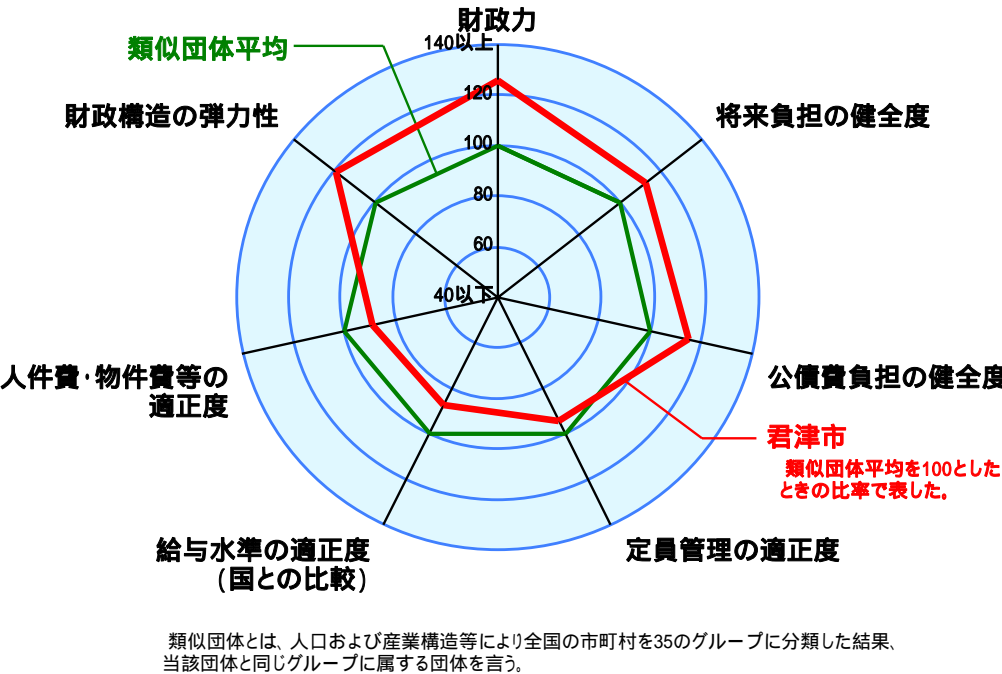
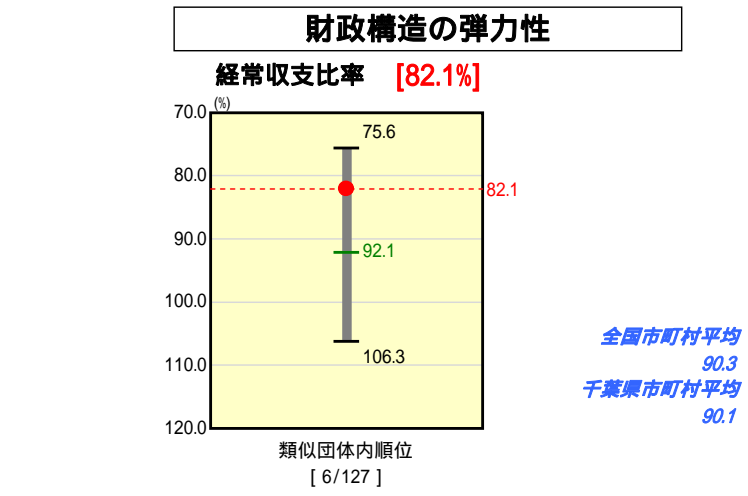
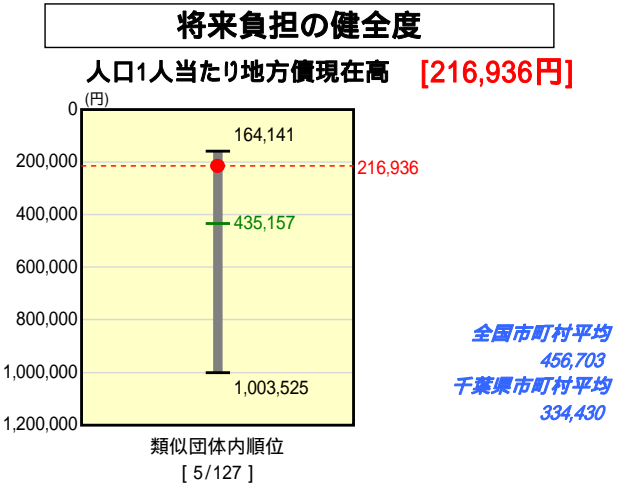
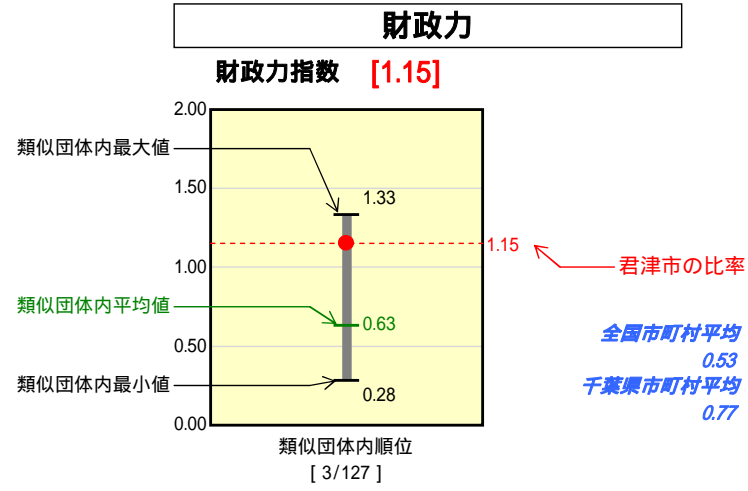


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 君津市

| | | |
|------|------------|-----------------|
| 人口 | 90,858人 | (H19.3.31現在) |
| 面積 | 318.83 | km ² |
| 歳入総額 | 29,515,366 | 千円 |
| 歳出総額 | 28,199,761 | 千円 |
| 実質収支 | 1,276,751 | 千円 |



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数:
大型事業所及びその関連事業所の集中により、類似団体平均を上回る税収があるため1.15となっており、近年は上昇傾向(平成14年度から4年連続して増加)にある。

経常収支比率:
平成18年度は82.1%と前年度に対し1ポイント上がったが、類似団体平均を下回る結果となった。その要因としては歳入面では大型事業所の業績向上による税収増の影響が大きく、一方歳出面では福祉関係経費の増加により扶助費が対前年度比7.0%と増加したが、人件費が新規採用の抑制などにより1.1%減(平成14年度に対し62人減)となっている。今後も引き続き行政改革を通じて義務的経費の削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
平成8年度以降毎年継続して職員数を削減するなど、人件費の抑制に努めているが、物件費は事業の見直し等による業務の民間委託化により上昇傾向にある。人口急増期に建設された施設の老朽化に伴う維持補修費や予算規模の拡大により、類似団体平均を上回る結果となった。

人口1人当たり地方債現在高:
平成18年度は前年度に対し僅かではあるが減少し、引き続き類似団体平均を下回る(5位)結果となっている。

実質公債費比率:
平成18年度は10.7%と前年度に対し4ポイント下がり類似団体平均を下回る結果となった。標準財政規模の伸びによる改善と考えられるが、今後とも緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

ラスパイレス指数:
人口急増期の大量採用と合併により、職員の年齢構成比率に極端な偏りがあり、指数に影響を与えている。初任給基準の見直し、高齢者対策などの措置を講じながら定員管理計画と併せて給与水準の適正化に努める。

人口1,000人あたり職員数:
平成18年度は前年度に対し0.15ポイント下がり、僅かではあるが改善の傾向が見られる。しかしながら市の面積が広大で類似団体と比較し、保育園や公民館などの施設を多く配置しなければならないことから依然として類似団体平均を上回る結果となっている。今後も職員の退職状況を考慮しながら定員管理に努める。